

用語解説

「バックキャスト方式」

「理想的な未来像」を想定し、そこから現在を振り返る（バックキャストする）ことにより、その「理想とする未来像」の実現に向けてなすべきことを明確にし、これからの道筋を定める方法論

「都市空間リダンダンシー」

施設の多重化や災害時利用可能な余剰地

「まちの復興を協創」

住民や、大学、建築士会、行政などの関係者が連携・協力し、新たな価値を造りあげること。

「シームレスな体制」

通常業務から、都市復興業務へとつなぎ目なく、移行できる体制。

「CM方式」

CM (Construction Management) 方式とは、建設生産・管理システムの一つであり、発注者の補助者・代行者であるコンストラクションマネージャー (CMR) が、技術的な中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計の検討や工程管理、品質管理、コスト管理などの各種のマネジメント業務の全部または一部を行うもの。

「復興計画」／「復興まちづくり計画」

復興計画は、県の復興方針に則して、復興計画の区域や期間、目標、人口の現状及び将来の見通し、計画区域における土地利用に関する方針、目標を達成するために必要な復興整備事業等を取りまとめる。

復興まちづくり計画は、復興計画で記載した復興整備事業の実現に向けた計画として、地区別に復興まちづくりにおける基幹となる土地区画整理事業や防災集団移転促進事業等を取りまとめる。

「リバーシブルな公園」

平時は「公園・広場」として利用し、発災時は「応急仮設住宅用地」として利用する、平時・災害時の両面で活用可能な公園。